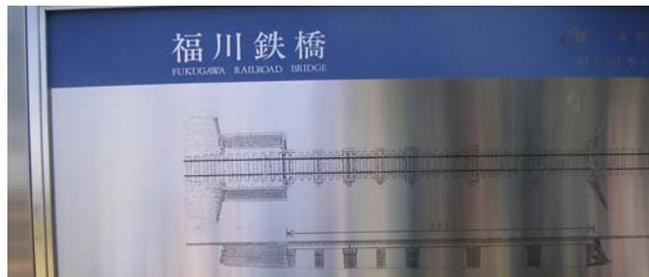


2004年10月2日(土) 10:00~15:00 深谷市 男の週末友遊学(VI)

第7回 深谷市探索 講師はスタッフの戸田邦彦さんです。

出席者 杉田、戸田、弓野、青山、上野、百瀬、齋藤、遠藤、笠原、小畠、さん

名細公民館 10:00 深谷市 福川鉄橋 11:20 大寄公民館 (誠之堂、清風亭) 12:10 昼食「楓」

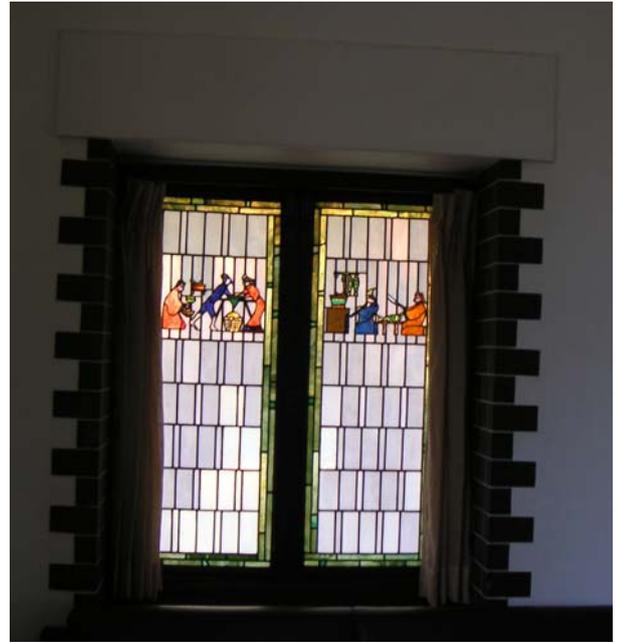


大寄公民館

現地の方から、色々と説明をして頂きました。

(戸田さんの視察計画の素晴らしさに感激しました！)

誠之堂(せいしどう) 1916年渋沢栄一の喜寿(77才)を記念して第1銀行行員達の出資で建築された。世田谷の第1銀行保養施設内にあったが、平成11年移築完成。平成15年、国の重文に指定。



清風亭は、大正15年、当時第1銀行頭取であった佐々木勇之助の古希(70才)を記念して建てられた。



埼玉県指定有形文化財

清風亭 (せいふうてい)

この建物は、大正15年(1926)に第一銀行2代目頭取、佐々木勇之助の古希(70才)を記念して、現在の東京都世田谷区瀬田に在った銀行の保養施設「清和園」内に建てられました。設計は銀行建築に活躍した西村好時、施工は清水組(現在の清水建設株式会社)が行いました。

建築面積は168.48㎡、棟までの高さは5.836mを測ります。構造は鉄筋コンクリート造、外観は人工石掻落し仕上げの白壁にスクラッチタイル(ひっかき傷をつけたタイル)と鼻黒煉瓦(黒褐色のれんが)がアクセントをつけ、屋根には珪瑠璃色の釉薬をかけたスパニッシュ瓦(スペイン風を模した丸瓦)が葺かれています。大正12年(1923)の関東大震災を契機に建築構造の主流となった鉄筋コンクリート造の初期の事例として、建築史上貴重な建物です。

平成9年(1997)、取壊しの決定に伴って深谷市が譲り受け、平成11年(1999)当地に移築、平成16年(2004)3月23日、埼玉県の有形文化財の指定を受けました。





渋沢栄一記念館 13:00 ~13:40 生家 13:50~14:30 深谷駅 14:50 ~15:10 深谷市~名細公民館 16:10 解散



なかんち
 旧渋沢邸「中の家」
 明治25年失火により焼失。
 翌年 再建された。
 昭和58年 屋敷を改装し、
 海外留学生の為の全寮制
 の私塾「渋沢国際会館」を
 開所。平成11年閉所。

残念ですが、これ以降の
 写真はよく撮れていません
 でしたので、割愛しました。